

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
1／35	高1年 3名		ひとりだちするための読書習慣－あしたへのステップ－

年間目標			(知及技) 知識及び技能	流通やサービスに関することについて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。(高1段階)			
			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	流通業やサービス業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。(高1段階)			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ共同的に取り組む態度を養う。(高1段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1 学期	4月	4	(知及技) 勤労の意義を理解すること。Aア(ア) (知及技) 意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現すること。Aア(イ)	(知・技) 勤労の意義を理解しようとする。 (知・技) 意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現しようとする。	・進路について(教科書の活用) ・オリエンテーション ・授業の流れを知る。 ・身だしなみ	・作業の意義の確認と目標設定。 ・挨拶、言葉づかいの確認と練習。 ・身だしなみや心構えの確認と実践。	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭
	5月	8	(知及技) 職業生活に必要なとされる実践的な知識及び技能を見つけること。Ai(ア)ア (知及技) 職業生活を支える社会の仕組みなどの利用方法を理解すること。Ai(ア)イ	(知・技) 職業生活に必要なとされる実践的な知識及び技能を見つけること。 (知・技) 職業生活を支える社会の仕組みなどの利用方法を理解しようとする。	・機材の名称と使い方 ・挨拶、言葉遣い ・パン作り	・道具の名称、使用方法の確認と実践。	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭
	6月	8	(思判表力) 作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現すること。Ai(イ)ア	(思・判・表) 作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現しようとする。	・現場実習 ・現場実習の事後学習 ・地域清掃(公民館など)	・実習の意義による課題の確認を踏まえた目標設定。 ・地域清掃(礼儀作法と清掃技術の向上)	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭
	7月	4	(学・人) 1学期の成果と課題を整理し、2学期以降の調整を行うこと。	(主学) 1学期の成果と課題を整理し、2学期以降の調整を行い、次への成長過程を示そうとする。	・1学期のまとめ ・2学期の目標 ・進路に向けて	・1学期の目標を振り返る。 ・2学期の目標決め。	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭
2 学期	9月	8	(思判表力) 作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ること。Ai(イ)ウ	(思・判・表) 作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ろうとする。	・トータルサービスの約束を確認 ・2学期の活動確認 ・喫茶サービスの準備	・活動内容の確認と目標設定。 ・コーヒー、紅茶の入れ方、火の取り扱い	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭、情報
	10月	8	(知及技) 職業など卒業後の進路に必要なことについて理解すること。Cア (思判表力) 産業現場などにおける実習での自己の成長について考えたことを表現すること。Ci	(知・技) 職業など卒業後の進路に必要なことについて理解しようとする。 (思・判・表) 産業現場などにおける実習での自己の成長について考えたことを表現しようとする。	・現場実習 ・現場実習の事後学習 ・喫茶サービスの準備	・実習の意義、前回実習評価による課題の確認を踏まえた目標設定。 ・焼き菓子作り	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭、情報
	11月	8	(知及技) 作業の確実性や持続性、巧緻性などを高め、状況に応じて作業をすること。Ai(ア)オ	(知・技) 実習での経験を生かし、作業の確実性や持続性、巧緻性などを高め、状況に応じて作業をしようとする。	・喫茶サービスオープンPR活動 ・喫茶サービスオープン	・成果と課題の確認。 ・キャッチフレーズ作り ・ポスター作成仕上げ	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭、情報
	12月	6	(学・人) 2学期の成果と課題を整理し、3学期の調整を行うこと。	(主学) 2学期の成果と課題を整理し、3学期の調整を行い、次への成長過程を示そうとする。	・喫茶サービス ・2学期のまとめ、3学期に向けて ・進路に向けて	・活動内容の確認、目標の再設定。 ・喫茶運営	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭、情報
3 学期	1月	4	(知及技) 情報セキュリティ及び情報モラルについて知るとともに、表現、記録、計算、通信などに係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能をしり、操作の仕方が分かり、扱えること。Bア	(知・技) 情報セキュリティ及び情報モラルについて知るとともに、表現、記録、計算、通信などに係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能をしり、操作の仕方が分かり、扱おうとする。	・公民館清掃 ・喫茶サービス ・QRコード決済に向けて ・進路に向けて(教科書の活用)	・公民館の清掃活動 ・喫茶運営 ・データ処理	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭、情報
	2月	8	(思判表力) 情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表すること。Bi	(思・判・表) 情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表しようとする。	・公民館清掃 ・喫茶サービス ・QRコード決済に向けて	・公民館の清掃活動 ・喫茶運営 ・データ処理とデータを活用した効率の向上に向けて	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭、情報
	3月	4	(学・人) 1年間の成果と課題を整理する。	(主学) 1年間の成果と課題が整理できている。	・3学期のまとめ ・次年度に向けて	・成果と課題の確認。	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭
留意点 引継等							

評価方法	・ 三観点の確認 ・ 授業（実技、実習を含む）に対する取組姿勢 ・ 課題の処理意欲、態度
------	--

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
1／35	高2年 2名		ひとりだちするための 進路学習ーあしたへのステップー

年間目標			(知及技) 知識及び技能	効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータについて知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知る。(高1段階)			
			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	身近な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を養う。(高1段階)			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養う。(高1段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1 学期	4月	8	(知及技) 意欲や見通しを4もって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現すること。Aア(イ)	(知・技) 意欲や見通しを4もって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現しようとする。	・教科書の活用 ・オリエンテーション ・かふやみ15の力 ・職業の心得 ・活動内容、服装	・仕事の意義の確認、目標設定。 ・職業人、社会人として ・自分のできること、できないことを分析。	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭
	5月	16	(知及技) 職業生活に必要なとされる実践的な知識及び技能を見つけること。Aイ(ア)ア(知及技) 職業生活を支える社会の仕組みなどの利用方法を理解すること。Aイ(ア)イ	(知・技) 職業生活に必要なとされる実践的な知識及び技能を見つけようとする。 (知・技) 職業生活を支える社会の仕組みなどの利用方法を理解しようとする。	・機材の名称と使い方 ・挨拶、言葉遣い ・パン作り	・清掃道具の扱い方と清掃実践。 ・場面をに応じて、適切な挨拶や言葉遣い。 ・食料品の扱い	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭
	6月	16	(思判表力) 作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現すること。Aイ(イ)ア	(思・判・表) 作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現しようとする。	・現場実習 ・現場実習の事後学習 ・地域清掃(公民館など)	・実習の意義による課題の確認を踏まえた目標設定。 ・地域清掃(礼儀作法と清掃技術の向上)	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭
	7月	8	(学・人) 1学期の成果と課題を整理し、2学期以降の調整を行うこと。	(主学) 1学期の成果と課題を整理し、2学期以降の調整を行い、次への成長過程を示そうとする。	・1学期のまとめ ・2学期の目標 ・進路学習	・1学期の目標を振り返る。 ・2学期の目標決め。	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭
2 学期	9月	16	(思判表力) 作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ること。Aイ(イ)ウ	(思・判・表) 作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ろうとする。	・トータルサービスの約束を確認 ・2学期の活動確認 ・喫茶サービスの準備	・活動内容の確認と目標設定。 ・コーヒー、紅茶の入れ方、火の取り扱い	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭
	10月	16	(知及技) 職業など卒業後の進路に必要となることについて理解すること。Cア(思判表力) 産業現場などにおける実習での自己の成長について考えたことを表現すること。Cイ	(知・技) 職業など卒業後の進路に必要となることについて理解しようとする。 (思・判・表) 産業現場などにおける実習での自己の成長について考えたことを表現しようとする。	・現場実習 ・現場実習の事後学習 ・喫茶サービスの準備	・実習の意義、前回実習評価による課題の確認を踏まえた目標設定。 ・焼き菓子作り	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭 情報
	11月	16	(知及技) 作業の確実性や持続性、巧緻性などを高め、状況に応じて作業をすること。Aイ(ア)オ	(知・技) 実習での経験を生かし、作業の確実性や持続性、巧緻性などを高め、状況に応じて作業をしようとする。	・喫茶サービスオープンPR活動 ・喫茶サービスオープン	・成果と課題の確認。 ・キャッチフレーズ作り ・ポスター作成仕上げ	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭、情報
	12月	12	(学・人) 2学期の成果と課題を整理し、3学期の調整を行うこと。	(主学) 2学期の成果と課題を整理し、3学期の調整を行い、次への成長過程を示そうとする。	・喫茶サービス ・2学期のまとめ、3学期に向けて ・進路学習	・活動内容の確認、目標の再設定。 ・喫茶運営	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭、情報
3 学期	1月	8	(知及技) 情報セキュリティ及び情報モラルについて知るとともに、表現、記録、計算、通信などに係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能をしり、操作の仕方が分かり、扱えること。Bア	(知・技) 情報セキュリティ及び情報モラルについて知るとともに、表現、記録、計算、通信などに係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能をしり、操作の仕方が分かり、扱おうとする。	・公民館清掃 ・喫茶サービス ・QRコード決済に向けて	・公民館の清掃活動 ・喫茶運営 ・データ処理	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭、情報
	2月	16	(思判表力) 情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表すること。Bイ	(思・判・表) 情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表しようとする。	・公民館清掃 ・喫茶サービス ・QRコード決済に向けて	・公民館の清掃活動 ・喫茶運営 ・データ処理とデータを活用した効率の向上に向けて	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭、情報
	3月	8	(学・人) 1年間の成果と課題を整理する。	(主学) 1年間の成果と課題が整理できている。	・3学期のまとめ ・次年度に向けて	・成果と課題の確認。	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭
留意点 引継等							

評価方法	・ 三観点の確認 ・ 授業（実技、実習を含む）に対する取組姿勢 ・ 課題の処理意欲、態度
------	--

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
1／35	高3年 1名		ひとりだちするための通話字第一あしたへのスタッフ

年間目標			(知及技) 知識及び技能	職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。(高2段階)			
			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。(高2段階)			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	よりより将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。(高2段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1 学期	4月	12	(知及技) 目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現すること。Aア(イ)	(知・技) 目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現しようとする。	・オリエンテーション ・かふやみ15の力 ・職業の心得 ・活動内容、服装	・仕事の意義の確認、目標設定。 ・職業人、社会人として ・自分のできること、できないことを分析する。	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭
	5月	16	(知及技) 職業生活に必要なとされる実践的な知識を深め技能を見つげようとする。 (知及技) 職業生活を支える社会の仕組みなどの理解を深めること。Aイ(ア)イ	(知・技) 職業生活に必要なとされる実践的な知識を深め技能を見つげようとする。 (知・技) 職業生活を支える社会の仕組みなどの理解を深めようとする。	・機材の名称と使い方 ・挨拶、言葉遣い ・パン作り	・清掃道具の扱い方と清掃実践。 ・場面をに応じて、適切な挨拶や言葉遣い。 ・食料品の扱い	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭
	6月	16	(思判表力) 作業や実習において、自ら適切な役割を見いだすとともに、自分の成長や課題について考え、表現すること。Aイ(イ)ア	(思・判・表) 作業や実習において、自ら適切な役割を見いだすとともに、自分の成長や課題について考え、表現しようとする。	・現場実習 ・現場実習の事後学習 ・地域清掃(公民館など)	・実習の意義を踏まえた目標設定。 ・地域清掃(礼儀作法と清掃技術の向上)	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭
	7月	12	(学・人) 1学期の成果と課題を整理し、2学期以降の調整を行うこと。	(主学) 1学期の成果と課題を整理し、2学期以降の調整を行い、次への成長過程を示そうとする。	・1学期のまとめ ・2学期の目標 ・進路について(教科書の活用)	・1学期の目標を振り返る。 ・2学期の目標決め。	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭
2 学期	9月	16	(思判表力) 作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、他者との協働により改善を図ること。Aイ(イ)ウ	(思・判・表) 作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、他者との協働により改善を図ろうとする。	・トータルサービスの約束を確認 ・2学期の活動確認 ・喫茶サービスの準備	・活動内容の確認と目標設定。 ・コーヒーマシン、紅茶の入れ方、火の取り扱い	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭、情報
	10月	16	(知及技) 職業など卒業後の進路に必要なことについて理解を深めること。Cア (思判表力) 産業現場等における実習で課題の解決について考えたことを表現すること。Cイ	(知・技) 職業など卒業後の進路に必要なことについて理解を深めようとする。 (思・判・表) 産業現場等における実習で課題の解決について考えたことを表現しようとする。	・現場実習 ・現場実習の事後学習 ・喫茶サービスの準備	・実習の意義、前回実習評価による課題の確認を踏まえた目標設定。 ・焼き菓子作り	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭、情報
	11月	16	(知及技) 作業の確実性や持続性、巧緻性などを高め、状況に応じて習熟すること。Aイ(ア)オ	(知・技) 作業の確実性や持続性、巧緻性などを高め、状況に応じて習熟した様子が見られる。	・コミュニケーション力を高める ・進路学習Ⅰ	・喫茶サービスオープンPR活動 ・喫茶サービスオープン	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭、情報
	12月	12	(学・人) 2学期の成果と課題を整理し、3学期の調整を行うこと。	(主学) 2学期の成果と課題を整理し、3学期の調整を行い、次への成長過程を示そうとする。	・喫茶サービス ・2学期のまとめ、3学期に向けて	・活動内容の確認、目標設定。 ・喫茶運営	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭、情報
3 学期	1月	12	(知及技) 情報セキュリティ及び情報モラルについて知るとともに、表現、記録、計算、通信などに係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を理解し、目的に応じて適切に操作すること。Bア	(知・技) 情報セキュリティ及び情報モラルについて知るとともに、表現、記録、計算、通信などに係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を理解し、目的に応じて適切に操作しようとする。	・公民館清掃 ・喫茶サービス ・QRコード決済に向けて ・進路に向けた不安の解消	・公民館の清掃活動 ・喫茶運営 ・データ処理	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭、情報
	2月	12	(思判表力) 情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことについて適切に表現すること。Bイ (学・人) 1年間の成果と課題を整理する。	(思・判・表) 情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことについて適切に表現しようとする。 (主学) 1年間の成果と課題が整理できている。	・公民館清掃 ・喫茶サービス ・QRコード決済に向けて ・3学期のまとめ ・次年度に向けて	・公民館の清掃活動 ・喫茶運営 ・データ処理とデータを活用した効率の向上に向けて ・成果と課題の確認。	国語、数学、社会、理科、英語、体育、音楽、美術、家庭、情報
留意点 引継等							
評価方法			・三観点の確認 ・授業(実技、実習を含む)に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度				